

【収入保険】私の選択・加入者の声



「経営維持の大きな力に」

【福井県あわら市 農事組合法人イーノなかのはま100
代表理事 林 清一郎さん（70）】

経営規模＝水稲65ヘクタール、大麦36ヘクタール、大豆30
ヘクタール、ソバ6ヘクタール

水稲、大麦、大豆、ソバを栽培しています。

米の供給が多いと価格が下がるため需給バランスを注視しています。麦などの転作作物は大雨など異常気象の影響を受けやすい傾向にあります。経営を維持していく中で、これらに対する補償が重要です。

収入保険の保険料、積立金の合計と共済掛金とナラシの積立金の合計を比べると、収入保険の方が安いので、加入しやすくして良いと思います。

（農業共済新聞 [北陸版] 2019年9月1週号より）